

Soliton DNS Guard

2024年6月22日

Soliton DNS Guard 2024年6月アップデートのご案内

本バージョンアップの主な追加機能・変更機能は以下の通りです。詳細につきましては、「Soliton Cloud Service Login Portal」ログイン後に表示される「各種資料」に掲載のドキュメントをご参照ください。

■強化した機能

<管理コンソール>

- ・ デバイスレポートの提供期間の拡大
これまで直近7日分しかダウンロードできなかったデバイスレポートが直近30日まで遡ってダウンロードできるようになりました。すべてのお客様において、追加費用なくご提供いたします。

<クラウドサービス基盤>

- ・ クラウドサービス基盤の強化
より安定したサービス提供のため、クラウドサービス基盤の大幅強化を行いました。

本アップデート後も、旧バージョンのエージェントをそのままご利用いただけますが、最新バージョンへのアップデートを強くお勧めいたします。バージョンアップ方法は、後述をご参照ください。

■変更・改善項目

<管理コンソール>

- ・ デバイスレポート・サマリーダウンロードの作成方法の変更
デバイスレポート・サマリーダウンロードは、管理者が作成するレポートの種類・期間等を指定するとレポート作成が開始される方式に変更となりました。
レポート作成にかかる時間や注意事項は、新バージョン紹介資料(※1)をご参照ください。
- ・ Windows版エージェントの改善・変更
Windows版エージェントで以下の改善・変更を行いました。
 - ダイナミックDNSへの対応
 - インストール時にプロファイルが無いと「契約終了」と表示される問題の修正
 - ポリシーダウンロードの認証エラー時にも正常と判定していた問題の修正
- ・ クラウド基盤のIPアドレス/FQDNの追加・変更
基盤強化に伴い、クラウド基盤側で利用するIPアドレス/FQDNが追加および変更されます。インターネット通信を制限されている環境では、許可設定の追加をお願いいたします。
詳細は、新バージョン紹介資料(※1)をご参照ください。

Soliton DNS Guard

※1 新バージョン紹介資料

新機能の詳細やその他の変更点などは、サービスポータル「Documents(各種資料)」-「102.新機能紹介」に掲載している「SDG_V1.4.0 紹介資料_Rev001-2406.pdf」をご参照ください。

■エージェントのバージョンアップ方法

今回 Windows 版エージェント以外のエージェントの更新はありませんが、どの OS においても、【最新バージョン】のエージェントをご利用いただきますようお願いいたします。

・ Windows 版エージェント

Microsoft Intune などのデバイス管理ツール(MDM)等で展開されている場合は、手順書(※2)をご参照ください。初回インストール同様「アカウント」画面で「アカウントのエージェントを発行」し作成した新しいインストーラーをデバイス管理ツールにて適用ください。

手動で端末にインストールしている場合も、同様の手順でエージェントを発行し、受信したメールの URL からインストーラーをダウンロードして、上書きインストールします。

・ iOS/iPadOS 版・Android 版・Chrome Extension 版エージェント

App Store あるいは Play Store アプリを使ってアップデートを行います。

アプリの自動アップデートが有効な場合は、自動的にアップデートされます。

アップデート後は、自動的にエージェントが開始されます。

・ macOS 版エージェント

初回インストール同様「アカウント」画面にて「アカウントのエージェントを発行」し、受信したメールの URL からインストーラーをダウンロードして、上書きインストールします。

※2 Microsoft Intune や Google 管理コンソールなどの MDM を利用している場合のエージェントバージョンアップの詳細は手順書をご参照ください。サービスポータル「Documents(各種資料)」-「101.各種手順書(スタートアップガイドなど)」-「SDG」に、Windows、Chromebook、iOS/iPadOS それぞれについて、専用の資料をご用意しています。

以上